

5 新潟暮らしの魅力発信と多様な支援による移住・定住の促進

新潟への誇りと愛着を醸成しながら、市内外で新潟暮らしの魅力をもっとPRするとともに、若者に対する市内就労への意識醸成や、市内企業を知ってもらう取組を強化します。

移住セミナーでの情報発信はもとより、移住検討者・UIターンによる就業者・移住者向けの多様な支援の展開に加え、将来的なUターンや移住を見据えた継続的なつながりを持ち続ける「関係人口」の創出に取り組むことで、新しい人の流れを生み出します。

| 事業名 | 事業概要 | 予算額 |
|--------------------------------|---|------------|
| 自己実現していく力の育成 | | |
| 探究学習推進事業 (再掲) | 市立高等学校等の魅力化・特色化を図るとともに、将来の市内就労やUIターンにつながるよう、地元への誇りと愛着の醸成を図るため、市立高等学校等の探究的な学習の充実に向けた取組を実施します。 | 3,000 千円 |
| 地域と学校・社会教育施設の協働 | | |
| コミュニティ・スクール推進事業 | 子どもたちの「これからの社会をたくましく生き抜く力の育成」に向けて、各学校の学校運営協議会において保護者、地域、学校が一体となって子どもを取り巻く課題や育てたい子どもの姿について議論や協働を重ね、共に子どもの成長を支える学校づくりを進めます。 | 29,375 千円 |
| 地域とともにある学校づくり推進事業 | コミュニティ・スクール講座の開催により、学校運営協議会の協働プロセスの構築やマネジメントスキルの向上など機能の充実を図ります。また、地域とともにある学校づくりが持続可能な取組となるよう、子どもと地域が一緒になって課題解決のための検討を行うことができる仕組みづくりを進めます。 | 3,972 千円 |
| 子どもふれあいスクール事業 | 小学校PTAと教育委員会の共催により、週1～3回平日の放課後や土曜日の午前中に小学校の体育館や余裕教室などで、児童の自由遊びを基本にした「子どもふれあいスクール」を開催し、地域の方と触れ合う体験的な活動である「ふれあいプログラム」を実施します。 | 26,403 千円 |
| 地域と学校パートナーシップ事業 | 学校教育活動のさらなる充実を図り、学・社・民の融合による教育を進めることを目的として、学校と地域を結び地域教育コーディネーターを配置し、学校と社会教育施設、地域活動を結ぶネットワークづくりなどの取組を行います。 | 143,205 千円 |
| 活動の担い手育成・確保 | | |
| 拡充 地域力UPチャレンジ事業 | 地域コミュニティ協議会が実施する、地域課題解決の実践に対する新たな補助制度を創設します。本事業を通じて、地域のリーダー役・調整役として、地域課題を解決に導ける地域人材の育成につなげるとともに、新たな担い手の発掘や課題解決力の向上を目指します。 | 4,200 千円 |
| 市民活動支援センターの運営 | 市民活動支援センターにおいて、市民公益活動に関する情報収集・情報提供や各種団体の交流支援、人材育成などの事業を行い、さまざまな団体の市民公益活動を全般的に支援します。 | 29,244 千円 |
| 新潟暮らしの魅力発信 | | |
| 新潟暮らし魅力発信事業 | 組織横断的に新潟暮らしの優位性や魅力を把握し、移住定住ポータルサイトや移住相談、移住セミナーなどで市内外に広く発信し、本市へ移住者を呼び込みます。また、移住後の生活を安心して送れるよう、移住者の定住に向けた取組を行います。 | 11,218 千円 |
| 市内への就労促進 | | |
| 新規 デジタル技術を活用した地域就労モデル構築事業 (再掲) | 市民の所得向上と事業者の人手不足の解消を図るため、既存の単日短時間就労のマッチングサービス上に新潟市公式ページを設けます。併せて、在宅テレワーカー育成・活用支援のための施策を実施します。 | 44,000 千円 |
| 新規採用活動支援事業 (再掲) | 市内中小企業の人材確保と大学生等の市内就労を促進するため、自社の採用ホームページ等を有効活用して魅力を発信する企業のほか、リクルーターの養成やインターンシッププログラムの構築に取り組む企業を支援します。 | 16,000 千円 |
| 働きがいのある新潟地域創造事業 | 中小企業の団体が行う「地域で人を育成・採用する仕組み」(中小企業有志による社員定着の取組とその成果の効果的な広報による採用の取組)を構築することにより、若者から選ばれる新潟地域として人口の流出抑制へとつなげます。 | 300 千円 |

| 事業名 | 事業概要 | 予算額 |
|-----------------------------------|--|------------|
| 市内への就労促進(つづき) | | |
| 市内就労促進事業 (再掲) | 次代の担い手である若者の地元就職への意識醸成を促進するため、経済団体や地元大学など関係機関と連携してセミナーなどを開催するほか、市内外に企業情報を発信することで人口の流出抑制と流入促進を図ります。 | 2,404 千円 |
| 働き方改革など職場環境の整備 | | |
| 働き方改革推進事業 (再掲) | 経営者を対象としたセミナーの開催、働きやすい職場づくりに取り組む企業の表彰及びフォーラムを実施します。また、専用サイトを活用して、働き方改革やウェルビーイング経営実践企業のノウハウや国・県・市の支援制度を発信し、支援機関や業界団体と連携したネットワークの活性化を図ることで、企業の働き方を支援します。 | 6,454 千円 |
| 移住・定住(UIJターン)の促進 | | |
| 拡充 テレワーカー移住・定住促進事業 | 地域おこし協力隊を活用した情報発信などにより、テレワーカー移住者を本市に呼び込むとともに、テレワーカーのコミュニティを構築し、移住者が移住者をさらに呼び込む仕組みをつくります。また、三大都市圏から一定要件を満たして移住したテレワーカーや本市で体験居住をした方に支援金を交付し、移住・定住を促進します。 | 28,400 千円 |
| 拡充 移住支援事業 | 東京圏(埼玉県、千葉県、東京都及び神奈川県)から本市へ一定要件を満たして移住した方に、支援金を交付することで、本市への移住・定住促進及び中小企業等における人材不足の解消を図ります。また、東京圏から就職活動で本市を訪れた大学生のうち、一定要件を満たした方に対して、交通費の支援を新たに行います。 | 138,660 千円 |
| 関係人口の創出 | | |
| 新潟暮らし魅力発信事業(学生×地域の魅力探求プロジェクト:トビラ) | 市内外の大学生等と地域活動を行う団体が地域の課題を解決するプロジェクトを一緒に企画・運営することで、大学生に本市の魅力を認識してもらい、市内への移住定住につなげます。また、進学や就職のタイミングで市外転出する大学生等が本市と継続的なつながりを持ち続ける仕組みを構築します。 | 2,640 千円 |
| 副業関係人口創出事業 | 市外の副業人材等と市内の企業・団体とのマッチングを行うことで、副業をきっかけとした関係人口を創出します。また、市内企業の外部人材活用に関する機運を醸成し、企業の課題解決につなげます。 | 17,700 千円 |